

◆極端に雪の少ない冬だった。山形に戻ってきて八回目の冬だったが、こんなのは初めてだ。ほかの人にきいても、言うことはみな同じ。「こんなに雪が少ない冬は今までなかった」。気温が高いため、雪が降っても解ける。雪かきの回数も少なく、実家の雪下ろしを頼むこともなかった。助かったーと思うことも多かった。が、ことしの夏はどうなるのだろうかーと一抹の不安をおぼえるのである。春も一ヶ月くらい早く来てしまったようだ。

◆会員はそれぞれの場所で活動している。小野澤さんが歌会のために日帰りで金沢に行ってきたという。もちろん北陸新幹線ができたからだろうが、関東から行って北陸日帰りとは驚く。市川さんの行動力にも目を見張るものがある。外山滋比古先生の新刊記念の講演会に八重洲まで足を運んだとのこと。外山先生が新刊を出されたこともびっくりだが、会いに行こうとする市川さん、すごい。松井さんの名古屋日帰りにも驚かされた。エッセイの清紫会の集まりは毎月一回。みんな顔を合わせることで元気になる効果もあるのかもしれない。

福島県伊達市に住んでいる池田さんは、大手術のあと療養して驚異的な回復をしているようだ。

山形では冬のあいだ、どうしても籠もりがちになる。けれど、新野さんは正月の登山をしている。たまたまそのグループのリーダーのブログを見たら、本当に腰までの雪をラッセルしながら登っていた。いやはや。河内さんは百歳体操に通いながら、頭はクリアで読書量も多い。子どもころの記憶も確かである。というわけで、今号のわたしの感想を漢字であらわすと「驚」である。自分も負けてはいられないと、運動不足解消のために購入したエアロバイクをくるくる漕ぎながら、本を読んでいるところだ。

(布宮慈子)

# muninokai.com

上記のサイトでは、フルカラーのオンライン版「展景」を公開しています。

季刊「展景」93号

二〇一九年三月十五日 発行

編集・発行人 布宮慈子

制作 スタジオ・マージン

無二の会「展景」発行所

山形市上町二一―一七―二〇二

[info@muninokai.com](mailto:info@muninokai.com)